

熱間用ラベル貼り付け装置

概要

- 【概要】 連続鋳造設備で鋳造された熱間鋼片へ、耐熱ラベルを自動添付する装置です。
- 【用途】 製造所内、外販鋼片のトレーサビリティ管理、加熱炉装入時の品種間違い等の防止。
- 【方式】 耐熱ラベルプリンターが出力したラベルを、多関節ロボット・2軸専用装置で添付。
- 【特徴】 (1) 鋼片温度に対応した、様々な熱間ラベルを御用意。
(2) 鋼片搬送設備に合わせた、倣い機構を、ユーザー別に個別カスタマイズ可能。
(3) 導入時の機械安全対策等も御提案。

導入メリット

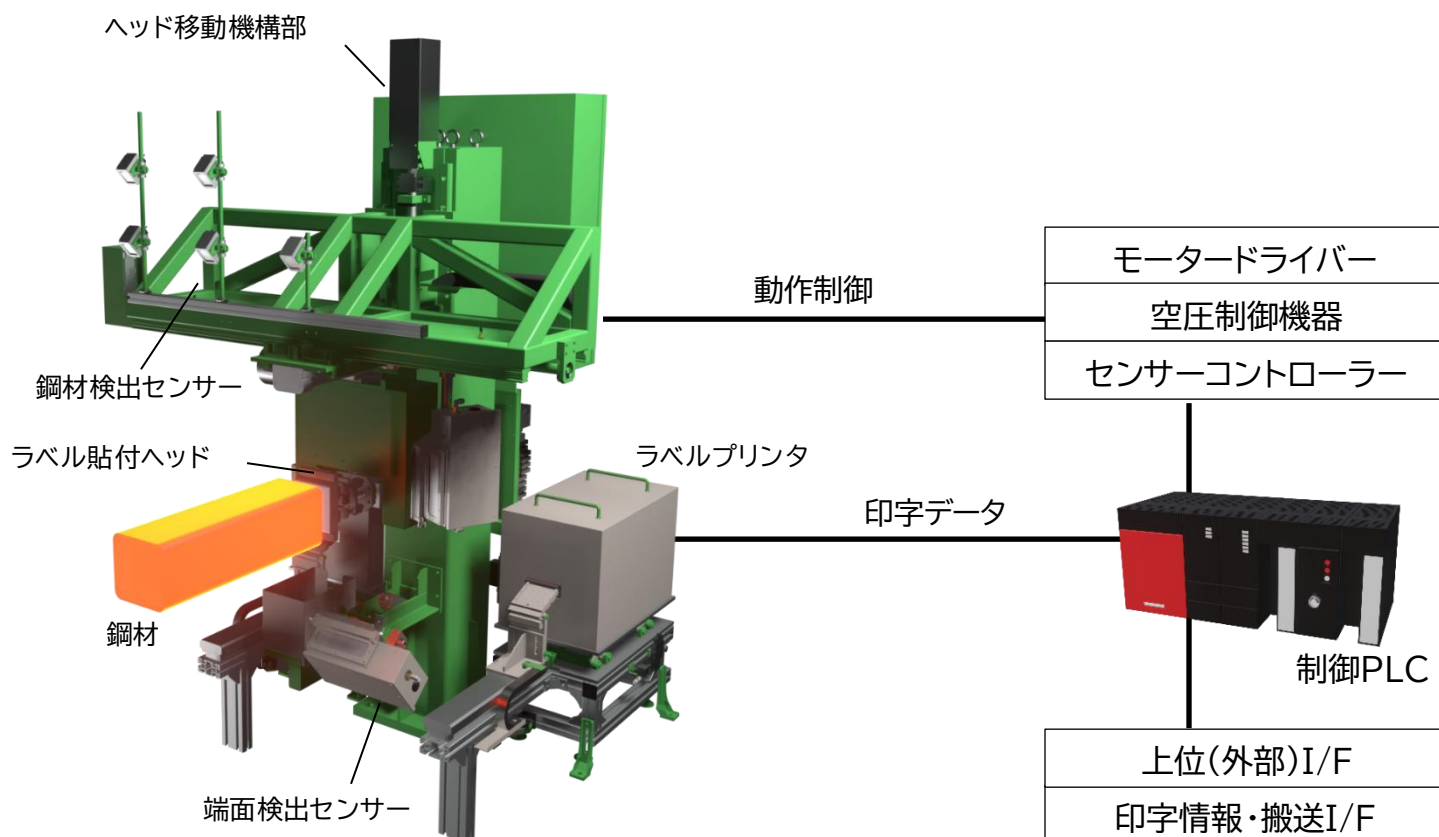
- 【異材防止】 ラベル読取装置と併用し、加熱炉装入時の異材装入防止。
- 【在庫管理】 ラベルにはQRコードを印字、在庫棚卸管理の効率化。
- 【安全確保】 手動貼り付けではなく、自動化で安全確保。

当社の強み

豊富な実績で、以下を御提案。

- 【環境対策】 耐熱環境を考慮した設計。
- 【読取装置】 加熱炉装入前読取装置、棚卸管理システムへの連携、御提案。
- 【一貫管理】 連鋳～圧延～出荷までの、一貫トレーサビリティ管理への発展。

システム構成例



各種仕様

仕様項目	概要	
対象材温度	200℃~800℃	
貼付サイクルタイム	60秒/1枚	
端面性状	ガスカット面(スケール無きこと)	
ラベル寸法	縦80mm×横80mm	
ラベル印字内容	英数文字、記号、バーコード、QRコード、TEXコード	
貼付装置本体	寸法	(概略)幅1200mm×奥行1400mm×高さ2200mm
	重量	(概略)1500kg

詳しくはYSテック㈱殿ヒートプルーフ仕様をご参照ください。

耐熱ラベル・実用例

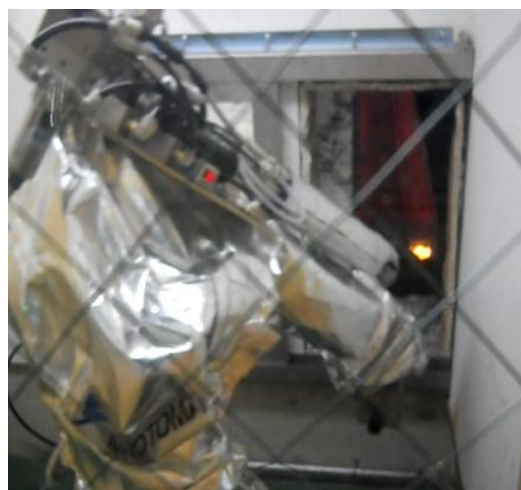
※YSテック㈱ ご提供データ

商品名	シールタイプ			シール/高温貼付タイプ	高温貼付タイプ	
	HP-120S	HP-150N	HP-CBR CX2	HP-350N	HP-600	HP-700T
使用可能最高温度	220℃	350℃	1200℃	600℃	600℃	800℃
貼付可能温度	RT~220℃	RT~300℃	RT~50℃	RT~400℃	250~600℃	450~800℃
印字面	白	白	白	白	白	白
ラベル基材	アルミ	アルミ	無	アルミ	アルミ	真鍮
セパレータの有無	剥離紙(黄色)	剥離紙(黄色)	剥離紙(黄色)	PET(透明)	無	無
粘着剤の有無	有	有	有	有	有	有
台紙の有無	有	有	有	有	無	無
ダイカット	可	可	可	可	不可	不可

- ◆耐熱ラベルへの印字は熱転写プリンターを使用。必要な情報(視認文字やコード)を現場で発行、貼り付け、コード読取することで異材混入を防止。



- ◆耐熱ラベルを貼り付ける対象材の形状により汎用多軸ロボットを使用。ロボット適用時の熱対策も対応可能。



お問い合わせ

日鉄テックスエンジニアリング株式会社 メカトロニクスイノベーション事業部

■営業グループ

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル

■計測検査ソリューション部

〒050-0087 北海道室蘭市仲町1 2番地

TEL : 0143-47-2690

<https://www.tex.nipponsteel.com>